

B. LEAGUE U18REGIONAL LEAGUE2021**参加報告書**

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	B. LEAGUE U18REGIONAL LEAGUE2021		
●日程	2021年 7月 3日 (土)		
●会場	おおきにアリーナ舞洲		
●講師	黒岡 和哲 氏		
●スケジュール	2021年 7月 3日 (土) 開講式なし (各自会場入り) 14:30~PGC 15:00~W-UP 16:00~GAME		
●担当試合	2021年 7月 3日 (土) 16:00~		
	対戦カード	福岡U18	VS 琉球U18
	主審	CC北村仁	U1川崎亮介 U2 森照代
	講師/主任	黒岡 和哲 氏	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・3Qで両チームがギアを上げてきたときに、それに対応できていなかった。ゲームの流れを感じて、判定する必要があった。 ・ノーコールが続いたときにも焦らず、しっかりプレーを見極める必要があった。 ・ショットクロックやタイマーへの意識することは大切だが、なんでもゲームを止めて修正するのか他の方法はなかったのか。 ・ボールばかりに目をやらずに、役割分担を意識。 ・シングルコールでも、その瞬間に自分がセカンダリーとして認識して、コールする準備を持っているか。 	
	自己の感想	<p>まだまだオフェンス (ボール) を見てしまっているケースが多いので、レフェリーディフェンスができるようにもっとコート上で意識したい。そして、プレゼンがまだまだなので、コールするときもノーコールの時もすべてコートに立つ前からプレゼンを意識していきたい。</p>	

2021年度 第2回 ステップアップ 自己研修会 参加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE2021 西地区					
●日程	2021年 7月4日(日)					
●会場	おおきにアリーナ舞洲					
●講師	茅野 修司 様		黒岡 和哲 様		湯浅 剛 様	
●スケジュール	2021年 7月4日 (日)					
	13:30 クルー集合(開講式なし)					
	14:00 チーム情報共有					
	15:00 更衣・ウォームアップ					
	15:30 PGC・コートインスペクション					
	17:00 実技開始					
	19:00 ポストゲームカンファレンス・解散(閉講式なし)					
●担当試合	2021年 7月4日 (日) 17:00~					
	対戦カード	福岡U18		VS	大阪U18	
	クルー	CC	石川 淳也 氏	U1	池嶋 一幸	U2 重松 志保 氏
	講師/主任	茅野 修司 様		黒岡 和哲 様		湯浅 剛 様
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のファーストコールに対してはこだわりを持つ。今回のゲームでは準備不足だったので慌てて吹いたような印象を与えてしまった。 ・トラベリングの判定に対してクルー全体で意識していたのは伝わった。しかし、ゲーム全体通して吹ききれておらず、確実に成立していないものも取り上げている場面があった。トラベリングを撲滅する意識ではなく、明らかかなものを積み重ねていく意識を持つ。 ・EOQのラストワンプレーは現象だけでなく、タイマーなどにもっと意識を置く。今回のゲームでは残秒があったはず。 ・プレゼンテーションを高める。グッドコールでもプレゼンで台無しになってしまう。 				
	自己の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム全体を通してトラベリングに過敏になりすぎた。その結果、トラベリングが成立していないケースも取り上げてしまっている場面もあった。また、2Qのラストワンプレーでのスローインの位置の移動などを取り上げることができなかった。明らかにバイオレーションのものを取り上げることが信頼につながると感じた。 ・自分自身はもちろんだが、クルー全体でもっとクロックを意識しないといけなかった。3Qのラストワンプレーでのファウルコールで残秒があったはずだが、結果流れてしまい、クォーターが終わってしまった。ゲームには影響はなかったかもしれないが、こだわりを持ってやるべきポイントだった。 ・プレゼンテーションに関してはずっと自分が持っているテーマだと再確認した。何度も映像を確認して、より良いプレゼンテーションで判定の説得力を高めていきたい。 ・もっと笛を入れる勇気を持たないといけな。もちろんプライマリーを意識した上ではなるが、3人のうち誰が吹いてもいい場面ではもっと積極的に笛を入れるべきだった。 ・クルーチームメンタリティを含む準備をもっとすべきだと再確認した。今回のゲームで発揮できなかった部分を次に活かせるように、また自己研鑽を重ねていきたい。最後になりましたが、このような機会を与えてくださった大阪府バスケットボール協会審判委員会のみなさまに感謝申し上げます。ありがとうございました。 				

2021年度第2回ステップアップ自己研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	B.LEAGUE U18REGIONAL LEAGUE 2021 西地区		
●日程	令和3年7月4日 (日)		
●会場	おおきにアリーナ舞洲		
●講師	大阪府審判委員会 インストラクター部		
●スケジュール	令和3年7月4日 (日)		
	14:30 PGC① チームスカウティングの共有		
	15:30 PGC② メカなどの確認		
	17:00 実技開始		
●担当試合	令和3年7月4日 (日) 17:00 ~		
	対戦カード	福岡	大阪
	主審	CC:石川氏 U1:池嶋氏 U2:重松	
	講師/主任	茅野氏	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・クロックの管理をクルーで一貫して持つことが必要。2QのEOQや3Qでのショットクロックのところなどプライマリーだけではなく、クルーとして持つことが大事。 ・今回に限らず、どのゲームでも挙げられているトラベリングに関する判定をもう少し全体通して、どの選手がコートにたっても整理すべきだったのではないか。 ・個人として、トライしようとしている姿がコートに現れていたり、バイオレーション等を捉えていることは良かった。 	
	自己の感想	<p>まずはじめに、徹底された感染症対策により無事に自己研修会を終えることができました。ありがとうございました。また、ご多忙の中で第2回ステップアップ自己研修会を開催して下さった関係者の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>さて今回の自己研修会では、前日までにチャレンジしてきている、TLCのポジションアジャスト、アングルの捉え方、走るフォーム、立ち姿などしっかりとコートでトライできていたのかなと実感しております。まだまだ課題はありますが、次に繋げます。</p> <p>また、たくさんの方に注意を払いながら、コートにたっていたのにも関わらずEOQの場面やショットクロックの場面に違和感を感じていたことを決断して発信していけなかったこと、Lの目の前でディフェンスのつめかたが良くなってオフェンスがラインクロスをした場面など、こぼしてはいけないところをマインドコントロールがあまく、一貫してコールできなかったことに反省が残りました。この課題を解決するために、もう一度ルールの確認、プライマリーやセカンダリーの確認などを学び直さないといけないなと考えさせていただきました。それ以外にもトラベリングの一貫性、ファールの一貫性など新たな気づきや学びとなり次に向けて準備を深めていく必要があるため、今回のことを糧に取り組んでいきたいと考えます。</p> <p>今後ともよろしくお願いいたします。</p>	

令和3年度 第2回 ステップアップ 自己研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE2021 西地区					
●日程	令和3年7月3日		(土)	～	令和3年7月4日	
●会場	おおきにアリーナ舞洲					
●講師	大阪府審判委員会 インストラクター部					
●スケジュール	令和3年7月3日		(土)	～	令和3年7月4日	
	開講式・閉講式実施なし 適宜会場入り、講習ゲーム					
●担当試合	令和3年7月4日		15:00		～	
	対戦カード	琉球U18			VS	広島U18
	主審	CC	太田氏	U1	木村氏	U2 伊達
	講師／主任	黒岡 和哲様				
	講評	<p>全体のゲームとしては大きく取り上げなければいけないものを逃したり、審判のミスで試合の結果が変わったというわけではなく、流れとしては良かったと講評を頂きました。クルーで協力ができていた点として3or2のヘルプなどがスムーズに出来ていたことを良かった点として取り上げていただきました。その中でもクロック管理をしっかり行ってくれているクルーがいるのに、他2人のクルーも同様に出来ていない場面が多かったこと、修正を行う必要がある場面であったのに修正が行われていないことなどクルーワークとして不十分な場面のご指導を頂きました。ゲーム内容としてはキーマンの選手に対しての笛の入れ方や判定した内容の伝え方に工夫が必要であったとご指導頂きました。</p> <p>個人として頂いた反省点としては、リードの際のローテーションのタイミングが早すぎたり、遅すぎたりと適切なタイミングでないこと、トレイルの位置取りがレフェリーディフェンスを意識できておらず、ボールウォッチャーになりやすくなっている点をご指導頂きました。</p>				
	自己の感想	<p>今回の自己評価としてローテーションが比較的スムーズであったと考えていたのですが、ご指導していただいた内容が自分の感想とは逆であったため、現在の自分の認識が違って認識されているのだと実感致しました。なぜそのタイミングでローテーションを始めるのかを改めて考えて行かなければならないと感じました。</p> <p>今回の試合を担当させて頂いて、選手になぜそれを判定しているのか、というメッセージを伝えていくことが必要であると感じました。なにをしたのかわからないがファールという判定になった、という状況は選手からもフラストレーションが溜まる原因となりますので、1つ判定するのも吹き方やプレゼンテーションの見せ方に工夫が必要であると感じました。必要に応じて説明するなどの方法を自分の中に持っておく必要があると学びました。今回、ご指導していただいたインストラクターの方々、お忙しい中ありがとうございました。</p>				

2021 年 度 第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 講 習 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2021					
●日程	令和3年7月3日		(土) ~		令和3年7月4日 (日)	
●会場	おおきにアリーナ舞洲					
●講師	茅野 修司 様、黒岡 和哲 様、湯浅 剛 様					
●スケジュール	令和3年7月3日 (土)		おおきにアリーナ舞洲 サブアリーナ			
	開講式なし 各自割り当て時間に合わせて集合 14:30 PGC 15:00 更衣・W-up 16:00 コートin 16:00 コートインスペクション 16:15 実技開始 閉講式なし 適宜解散					
●担当試合	令和3年7月3日 (土) 16:15 ~					
	対戦カード	福岡U18		VS	琉球U18	
	主審	主審	北村 仁 氏	U1	河崎	U2 森 照代 氏
	講師/主任	黒岡 和哲 様、茅野 修司 様				
	講評	<p>・C、Tポジションでの動きをもっと研究して欲しい。(ショットの瞬間に動いてしまい、立ち止まったの判定ができていない。メカニクスやプレー、戦術の理解をして、予測を立てることも大切である。)</p> <p>・TポジションでTがボールを見るべきタイミングでボールを見ていない時がある。やはり一番ファウルやヴァイオレーションが起こるのはボールマンなので、誰が今ボールマンをとらえておくべきなのかメカニクスの理解が必要である。</p> <p>・3Qの中盤、白ベンチにフラストレーションが溜まっていた中で絶対に吹き逃してはならないベンチ前のCプライマリーの判定ができたのはよかった。その後の白のショットクロックヴァイオレーションも決断して判定できていたのはよかったが、その前に続いたノーコールは果たしてリーガルかどうか映像で検証して欲しい。また、3Qはこの試合一番動きがあったので、クルー全体でゲームフローや他のクルーの判定、ベンチのフラストレーションなどを頭に入れて判定をすべき時間帯だった。</p> <p>・白のトラップディフェンスの2枚目、3枚目はリーガルかどうか検証して欲しい。</p>				
	自己の感想	<p>現在私が課題にしている「マージナルコールを減らし、吹くべきファウル、ヴァイオレーションを逃さずに取り上げる」を一試合通して特に意識しました。結果としてno callでよかったケースが1つありましたが、少し改善ができたのではないかと思います。特にトラベリングについては、クルー全体で同じ現象について共有ができており、その点については自信につながりました。しかし、ショットに対するファウルについてはまだ吹き逃しがあるので、プレーにコネクする必要があると感じました。</p> <p>もう一つの課題にしている「C,Tポジションの動き方、3 or 2の見方」については、積極的にチャレンジをしたものの、自分で「プレーに振られているな」と実感するほど後追いになっていたと思います。もっと研究をして改善していきたいです。</p> <p>このような御時世の中で、前回に引き続き二回目の研修会を開催していただいた大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に深く感謝申し上げます。</p>				

第 2 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2021 西地区						
●日程	令和3年7月4日 (日) ~			令和3年7月4日 (日)			
●会場	おおきにアリーナ舞洲						
●講師	大阪府審判委員会 インストラクター部の皆様						
●スケジュール	令和3年7月4日 (日)						
	開講式なし 各自割当時間に合わせ集合 閉講式なし 適宜、解散						
●担当試合	令和3年7月4日 (日) 15:00 ~						
	対戦カード	琉球ゴールデンキングスU18		VS	広島ドラゴンフライズU18		
	主審	CC	太田氏	U1	木村	U2	伊達氏
	講師/主任	黒岡 和哲 様					
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・セカンダリの意識を強く持つこと プレーの判定やTO管理などプライマリに任せすぎない ・プレゼンにメリハリをつけること 力強さがたりない、淡々としすぎていてコートでの存在感がない ・ゲームフローを感じる 点差と時間、今はどういう時間帯なのか。絶対に逃してはいけない判定。 ・3or2のクレーでの協力はとてもよくできていた きわどいケースも多々あったが丁寧に判定できていた ・トレイル時の追従の仕方の工夫が必要 ただ後ろについて走るだけではない。レフリーディフェンスできる位置へ。 ・ワーニングホイッスルの活用 積極的にワーニングホイッスルを活用してよい 					
	自己の感想	<p>リードでのローテーションのタイミングに大きな課題があると感じた。ミラーザボール・クローズダウンをしっかり使い分けること、プレーの理解と予測をすること、また、場合によってはバックペダルを使うこと。自らメカを崩す原因を作らないようにこれからも研鑽を続けていきたい。</p> <p>クロック管理については、常にタイマーとショットクロックを把握する習慣はついてきている。講師の方からもご指摘をいただいたが、何かトラブルがあったときにプライマリでなくとも、自信をもって自分の持っている情報を出せるように、クレーチーフメンタリティーを強く持つことを意識したい。</p> <p>コロナ禍においてこのような研修の機会を設けていただき、講師の方々、関係者の皆様には感謝申し上げます。</p>					